

改質アスファルト乳剤/分解促進剤 同時散布型

# タックファインSQ

NETIS登録番号 KT-180007-VE

## タックファインSQ散布直後の散布面の状況

分解促進剤未散布箇所

分解促進剤散布箇所



**概要** タックファインSQは、速分解型アスファルト乳剤(PKM-T-Q)の規格に準拠した改質アスファルト乳剤と分解促進剤を専用ディストリビュータを用いて同時に散布することで、PKM-T本来のタイヤ付着抑制機能や層間接着性能を継承しつつ、改質アスファルト乳剤の分解時間を大幅に短縮する「急速分解性」を付与した高性能タックコートです。

- 特徴**
- ① 改質アスファルト乳剤と分解促進剤を同時に散布することで、改質アスファルト乳剤の分解時間を大幅に短縮できます。
  - ② タックファインSQの改質アスファルト乳剤は、(一社)日本アスファルト乳剤協会が定めた「速分解型アスファルト乳剤(PKM-T-Q)」の規格を満足する性状を有しています。
  - ③ 各種アスファルト混合物に対して、優れた層間接着性能が得られます。
  - ④ 中性の分解促進剤なので、作業面や環境面に対して十分な安全性を確保しています。

## □ タックファインSQの使用上の留意点

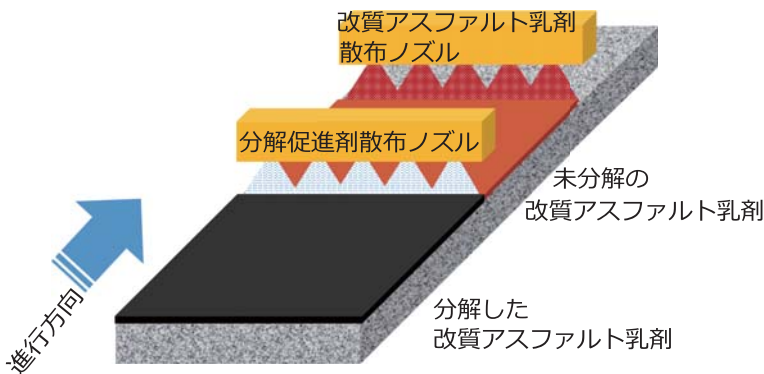
- タックファインSQを散布する路面を十分に清掃してから散布してください。
- 切削時に使用する水がタックファインSQを散布する路面に極力残らないようにしてください。
- 改質アスファルト乳剤が完全に分解したことを確認してから、次の工程に移ってください。

## □ タックファインSQの散布イメージ

タックファインSQは、改質アスファルト乳剤散布ノズルと分解促進剤散布ノズルが搭載されたディストリビュータで散布します。改質アスファルト乳剤を散布した直後に分解促進剤を散布するので、短時間で分解が可能です。



改質アスファルト乳剤・分解促進剤  
同時散布対応型ディストリビュータ

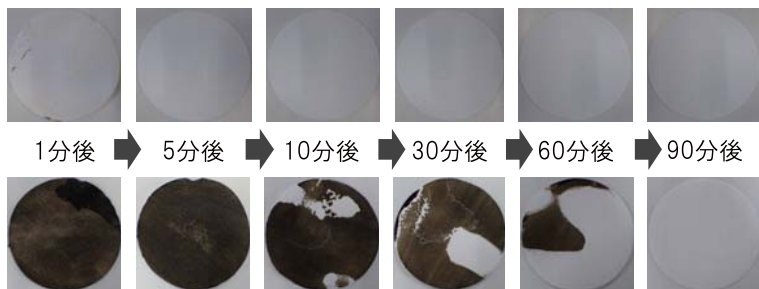


改質アスファルト乳剤と分解促進剤の散布イメージ

## □ タックファインSQの分解時間短縮効果

JEAAS<sub>2020</sub>で規定される速分解型アスファルト乳剤の分解性能試験に準拠して、従来のPKM-Tと比較しました。特にアスファルト乳剤の分解に時間を要する冬季施工を想定した5°C環境下において、分解促進剤散布直後から強制的にアスファルト被膜が形成され、5分後にはアスファルト乳剤の付着が全く認められません。タックファインSQを適用することで、PKM-Tの優れた層間接着性能は、そのままに冬季施工における待機時間を大幅に短縮できます。

タックファインSQ



PKM-T

試験温度5°C

## □ タックファインSQの規格

改質アスファルト乳剤の性状

JEAAS 速分解型アスファルト乳剤 PKM-T-Qに準拠

試験項目	標準的な性状	社内規格値	試験方法	
エングレー度/25°C	5	1~15	JIS K 2208	
ふるい残留分/1.18 mm(質量%)	0.0	0.3以下	JIS K 2208	
付着度	2/3以上	2/3以上	JIS K 2208	
粒子の電荷	陽(+)	陽(+)	JIS K 2208	
蒸発残留分(質量%)	51	50以上	JIS K 2208	
蒸発残留物	針入度/25°C(1/10 mm)	19	5~30	JIS K 2208
	軟化点(°C)	59.5	55.0以上	JIS K 2208
貯蔵安定度(24 hr)(質量%)	0	1以下	JIS K 2208	
タイヤ付着率/60°C(質量%)	1	10以下	JEAAS	
アスファルト付着率5°C・5分(質量%)	1	5以下	JEAAS	

分解促進剤の性状

試験項目	標準的性状	社内規格値
pH	7.1	6.0~8.0